



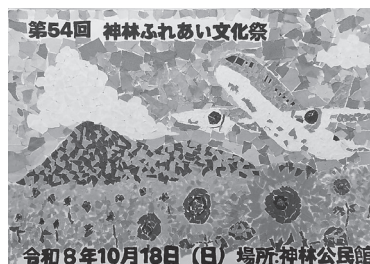
令和 8 年 9 月 1 日 現在
総世帯数 2,107 世帯
総人口 4,685 人
男 2,310 人
女 2,375 人

40 回目の文化祭 ポスター審査会開く

9 月 2 日 19 時、神林福祉ひろばで文化委員により、他地区にない 40 回目の文化祭ポスターコンクール審査会を行った。審査には町神の高山正弘さんとこれまで携わっていただいた庄内の有賀由延さんに代わって木曾日義の榊田千秋さんにお越しいただいた。

このポスターコンクールは 1986 年 5 月の公民館運営委員会で夏休みの課題として文化祭に合わせて書道と一緒に体育館で行っていたが書道は大変と言う事でポスターだけとして始めて 40 回目となった。

審査の結果、大会長賞には



【大会長賞】
(南荒井 小学 6 年生) 渡辺 このみさん

南荒井の 6 年生渡辺このみさんのポスターが選ばれた。

審査に当たった榊田千秋さんは「どれを採ってもさほど

差が無く大会長賞の作品はコラージュ(紙、写真、布など様々な素材を切り貼りして一つの作品を作る表現技法)がとても面白い。」と評され、高山正弘さんは「ポスターのテーマが大事です。筆のタッチがいい作品が多くありました。」と感想を話された。文化委員長の山越久美子さんは「鋭い目線で審査していただき有難かった。」と話された。

10 月 18 日の「ふれあい文化祭」に全作品が展示される。

町神町会 備えあれば患いなし 自主防災訓練実施

7 月 5 日南海トラフ巨大地震で松本地域に震度 5 強の地震が発生したことを想定して町神町会自主防災訓練が行われた。

8 時 15 分の防災行政無線によるサイレンと放送により、訓練が始まった。訓練放送後、それぞれ常会ごとに指定の一時集合場所に避難した。児童遊園には、約 50 名が避難した。避難者は、組ごとに整列し、組長が安否確認を行い、一時集合場所責任者の 4 部常会長に報告した。安否確認訓



7 月 5 日 (日) 梶海渡町会で旧農休みの交流行事として常会対抗ポッチャ大会が行われた。

以前は農休みというマレットゴルフを行っていたが、昨年よりだれでも参加できるようにと町会長の発案でポッチャを取り入れた。

東部常会 A チーム、東部常会 B チーム、南部常会、中



練終了にあたり、4 部常会長は「災害が起きた際は隣近所

声を掛け合い、協力して避難し、身の安全を確保するのが大事」と締めくくった。

9 時 10 分から町神公民館で救護訓練、消火訓練を行った。芳川消防署神林出張所から 3 名の隊員にご参加いただき、自主防災組織の班員を中心に約 30 名が参加した。

救護訓練では、消防署隊員指導の下、簡易担架を使って

部常会と 4 チームに分かれ競技をスタート。競技に慣れるまではぎこちなくボールを投げていたが、次第に歓声が沸き良いプレーが出ると大きな拍手が参加者を激励していた。

競技結果は、優勝東部常会 A チーム、準優勝東部常会 B チーム、3 位中部常会、4 位南部常会という結果で終了した。

大会終了後は表彰式と慰労会を兼ねた食事会・ビンゴ大会が行われ参加者全員



和気藹々と楽しい時間を過ごした。
梶海渡町会として各戸のミニユニケーションが取れた一日だった。

救護訓練を行った。消火訓練では、水が出る訓練用消火器を使って、消火訓練を行った。消防隊員から消火器による初期消火の説明後、参加者は 2 名ずつ、「火事だ、火事だ」と叫ぶながら、消火器による放水を行った。
10 時 10 分からは公民館近くの消火栓を使って消防団指導による放水訓練を行った。
10 時 30 分、放水訓練が終わり、自主防災訓練が終了した。災害は忘れた頃にやってくる。地震や火事等の災害に備えて、日頃から訓練しておくことがいざという時に役に立つ、自分事として積極的な参加をお願いしたい。

寺家のふれあい夏祭り

8月13日、恒例の寺家町会ふれあい夏祭りは開幕直前にばらついた雨が止み238人の老若男女が集い「今年は盆踊りをする」の気概だった。

先ず12人のラッパ隊の鋭い金属音のファンファーレで開幕した。中川眞町会長の「みんなが和氣藹藹楽しむ集いにしましう」との開会のあいさつ後、改めて消防ラッパ隊の演奏で今回は火災発生時、部隊集合時、火災現場に集合時、ホース止め時、解散時の合図曲の説明を女性MCがされてとても新鮮であった。アンコールに「進軍ラッパ」を演奏した。

この後盆踊りとなり、ステージで消防団の2人と子ども



もたち数人が何度か松本ぼんぼんを踊りまわっていた。

暗くなるにつれ各常会の屋台も賑わいを見せ、久しぶりに出会った人々がビール入りコップを持ちつつ談笑する光景は夏祭り独特の風景だった。

広場の西南に並ぶ消防団の「焼き鳥」が早々に売り切れの盛況で、北部常会の「フラシクフルト」南水寺の「かき氷」育成会の「ポップコーン」中部常会の「綿あめ」東部常会の「射的」とそれぞれ人だかりが続き売り切れの盛況ぶりであった。

子どもの西瓜割りには、低学年の応募が多く、力不足で西瓜がなかなか割れず、最後に町会長に託した一打は見事に外れ、目隠しをずらしての一撃で真つ二つに割れ大拍手となった。

お楽しみビンゴゲームで、今年は景品を増やし50個に行行った。それでもなかなかビンゴにたどり付かない人達の浴衣の裾が夜風に揺れていた。

北澤明町内公民館長は「楽しんでできました。ビンゴゲームは景品の数を増やしての対応が喜ばれて良かったです」と話された。

賑わったマスのつかみ大会

7月26日、夏休みに入り子どもたちが楽しみにしていたイベントの1つ、マスつかみ大会が鎖川河川敷にて行われました。

未就学児、小学生合わせて114名の参加により大いに盛り上がりしました。

3つの池に400匹のマスが放流され、年齢別に未就学児、低学年、高学年と分かれて役員の合図でスタートです。

冷たい水の中、未就学児は保護者と一緒にたどたどしい足つきで歓声を上げながら池の中のマスを追いかけました。

小学生になるとコツを掴んでいる児童も多く、開始早々



キーワードはなに?

本誌神林版の記事内に散りばめられているキーワードを見つけて言葉にしてください。

分かった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。正解者の中から抽選で**5名に500円分のクオカード**をプレゼント!締切は**10月23日(金)**。当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております!

【前回の答え】

げりらごうう

【今回のキーワード】

〇〇〇〇〇〇



に捕まえた子や、なかなか取れずに悩みなながらマスを追いかけてみたり、思いもかけず大物が捕れ、周りの児童と一緒にビックリしてみたり、参加者それぞれが良い体験になりました。

鎖川

今年も暑い日が続いています。この暑さで熱中症になってしまおう方が見受けられますのでお気をつけください。

熱中症予防としてよく言われているのが、定期的な休憩、こまめな水分や塩分の補給です。心掛けましょう。猛暑日と酷暑日の違いは知っていますか。

最高気温が30℃以上の日を真夏日、35℃以上の日を猛暑日、40℃以上の日を酷暑日と分けられています。

年にもありますが、猛暑日の平均日数は、大阪・名古屋が40日前後、東京が20日前後、那覇は意外と少なく8日程です。猛暑日と比較した場合、那覇より松本の方が多くなり、海に囲まれているので、その他の地理的条件で思った程気温は上がりません。

避暑対策として海やプールへ行かれる方も多いと思います。

最近では「遠くて疲れる」「体がベタつくから嫌」等の理由で海に入る事が敬遠されがちですが、皆さんは海とプールどちらが好みでしょうか?